

【CL名】岩崎さん 【解答者】アオちゃん 【作成日】2023年10月28日 【作成時間】40分

設問

【問い1】今ならどのような質問ができるか。

- ・「成果が伴わない」と仰いましたが、成果が伴わないというのはどういったことなのでしょう？
- ・「受けるのなら一直線」と仰いましたが、一直線というのはどういった感じだったのでしょうか？
- ・「力をつけない」と仰いましたが、岩崎さんはどのような力をつけないと思われていますか？
- ・「経営を立て直す」と仰いましたが、差し支えなければ経営を立て直すとはどういったことですか？
- ・「ひと通りいろいろ調べました」と仰いましたが、調べてみていかがでしたのでしょうか？
- ・「できれば即戦力」と仰いましたが、岩崎さんの思う即戦力とはどういうものなのでしょうか？

【問い2】良かった点と悪かった点（各2行）

事例ⅠのCC18（相応しい・相応しくない）

理由：相談者の就職活動がうまくいかないという思いを傾聴し、ご実家の工場を経営のために視野を広げ、少しでも役に立ちたいという思いを伺ったので信頼関係が構築できつつある点。

事例ⅡのCC19（相応しい・相応しくない）

理由：経営学部を選ばれた経緯や学んでいること、ご実家に対する思いを伺うことを優先し、そのため、内定がもらえないこと、成果が伴わないことについて十分に伺えたとの悪かった点。

【問い3】クライアントの主訴

自分なりに就職活動をがんばっているが、内定がもらえず、成果が伴わないと感じている。強みは行動力と自負しているが、キャリアセンターで論理性に欠けると言われたのは意味が分からない。実家では工場を経営しており、父の役に立てほしいと思い、経営学部を選択したが、実戦的なことが学べない期待外れであった。自分がなるとかになんかという責務を感じており、父が亡くなったことで早く力をつなげたいと思っている。即戦力で働ける場所に就職したいが、内定がもらえず、成果が伴わないと感じる。

【問い4】今後の展開（どのように進めるか）

半年前にお父様を亡くされたばかりで就職活動をがんばられている相談者に寄り添い、引き続き信頼関係の構築に努める。ご実家の工場への思いをさらに傾聴し、相談者が就職することで得たい知識や経験が明確になるよう自己理解を促す。あわせてJOB-TOGROで価値観に合う仕事の情報収集やインターンシップなどを提案する。内定がもらえない原因について一緒に振り返り、必要に応じて適性検査などのツールを活用しながら自己理解を深め、今後の就職活動の計画を一緒に作成する。これにより、相談者が自身のキャリアビジョンに合った意思決定ができるよう支援する。